

生活科学習指導案

神石郡油木町立油木小学校 高橋 まり
迫田 靖恵
平元 好子

1 学年 第1学年(21名),第2学年(13名) 計34名

2 単元名 「わくわくチャレンジのうえん」

3 単元について

児童観

第1学年の児童は、動植物が好きである。熱心に水やりをしたり様子を見に行ったりしている児童がほとんどであるが、中には、興味が持てなかつたり世話を忘れてしまったりする児童もいる。花に興味を示しても、どんな種がどのように大きくなって花が咲き、実になるのかわからない児童も多い。野菜についても同様である。しかし、保育所での芋掘りや焼き芋をした経験からサツマイモを育てて食べたいという希望を持っており、チャレンジ農園を楽しみにしている。

第2学年の児童は、チャレンジ農園を昨年1年間経験しており、植物を育てた経験のない児童にとって、新鮮な体験だったようである。種の蒔き方、芋づるの植え方など、実際に体験できたことで畑に育つものに興味を持つようになってきた。また、高校生と一緒に作物を栽培する活動では、助けを求めたり、仲良く会話したりと、自然体で接することができ、意欲の継続にもつながった。加えて、昨年栽培したトウモロコシは、新1年生の歓迎会やPTA行事へ、サツマイモは、給食やチャレンジパーティーへ、そして、落花生や大豆は、交流活動へと自分達で育てた作物で様々な人とのふれあいができた。児童は、今年もチャレンジ農園の活動を心待ちにしている。

単元観

本単元は、学習指導要領の内容(3)地域と生活、(5)季節の変化と生活、(6)自然やものを使った遊び、(7)動植物の飼育・栽培をそれぞれ関連させて設定したものである。

本校では、一昨年から児童に豊かな心を育む体験学習を行おうと、県立油木高等学校産業ビジネス科の生徒と交流を持っている。第1・2学年との交流内容は、「チャレンジ農園」と題して、高等学校の生徒と一緒に作物を栽培することである。農園活動は、地域にある高等学校としての県立油木高等学校を知ることから、さらに生徒と交流することで高校生を身近に感じ、人々の温かさに触れることができる。また、自然豊かな油木町に住んでいながら畑で作られる作物のことや畑仕事のことに関心を持たない児童が多い中で、高校生と栽培活動を行うことで児童の興味・関心を持続することができるであろう。

指導観

この活動を通して、第1学年の児童には、自然に興味を持ち、自分達の作った作物に愛着や喜びを感じさせたい。一緒に活動する第2学年の児童や高校生と仲良くなり、他者から学ぶことも多いはずである。第2学年の児童には、昨年度の活動を想起しながら、さらに工夫して栽培活動をしたり、積極的に人とかわかろうとする態度を身に付けさせたりしたい。

また、本校のような小規模校では、2学年合同の単元を設定することで、異学年交流という視点と人数も増すことから児童相互の関係においても多様な内容が期待できる視点等から活動が幅広いものになるようにしたい。したがって、児童への支援や安全面において、複数の指導者による協力的な体制づくりも必要である。そして、人とのかわりや自然とのふれあい、栽培活動等は2年間、繰り返し学習することにしていきたい。

4 単元の目標

(内 容) 3, 5, 6, 7
 (具体的視点) イ, ウ, オ, カ, キ, ク, コ

農園において作物を育てたり収穫を喜ぶ会を行ったりする活動を通して、地域の自然に親しんだり人とのかかわりを深めたりすることができるようにする。

	生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気付き
第1学年	作物の生長や変化の様子を観察し、その生長に関心を持って進んでかかわる。 みんなと一緒に楽しむ。	作物を育てたことについて表現することができる。 収穫を喜ぶ会に参加して楽しかったことや分かったことなどを人に伝えることができる。	作物の生長や変化に気付く。 第2学年や地域の人々といっしょに活動すると楽しいことに気付く。
第2学年	育てている作物の生長を楽しみながら見通しを持って世話をしている。 みんなのことを考えて活動している。	地域の人々に対して適切な接し方を考えることができる。 収穫を喜ぶ会を計画し、行うことができる。	みんなで協力して活動し、自分や友だちのよさに気付く。 地域の人々とかかわって学習すると楽しいことに気付く。

5 支援の具体化

ア 児童が、お互いに聞き合ったり、教え合ったりするように言葉掛けをする。
 イ 高校生や地域の人と交流できる場を設定する。
 ウ 活動した成果を人に伝えられるような場を設定する。
 エ 家庭にも関心を持ってもらうために、チャレンジ農園での活動の様子を学級通信等で紹介する。
 オ チャレンジ農園で栽培する作物と同じ物を校内でも栽培し、興味・関心の持続を図る。
 カ 個々の児童に対応した指導を行うよう、指導者は3人体制とする。

6 評価の観点

関心・意欲・態度	思考・表現	気付き
チャレンジ農園に関心を持ち、進んで作物にかかわる。 作物の生長に関心を持つ。 友だちと協力して、栽培活動や収穫、パーティーを行う。 進んでチャレンジパーティーの用意をする。 高校生や地域の人に積極的にかかわる。 チャレンジパーティーを楽しむ。	農園で活動した様子を自分なりに記録にまとめる。 自分が見つけた材料を使い、工夫してチャレンジパーティーの飾りを作ったり、紹介したりする。	栽培活動を通して、季節による作物の生長の変化に気付く。 友だちや自分のよさに気付く。 みんなが作った物でパーティーをする楽しさに気付く。

7 学習指導計画と配当時間（全32時間）

第1次（1時間）	興味付けをし，計画を立てる 「チャレンジのうえんってなあに？」・・・	1時間
第2次（8時間）	栽培する 種まき・・・	2時間
	苗うえ・・・	2時間
	草取り・つる返し・・・	4時間
第3次（11時間）	収穫する ヒマワリ・トウモロコシの取り入れ・・・	2時間
	乾燥作業・・・	1時間
	サツマイモ堀り・・・	3時間
	大豆・落花生の取り入れ・・・	2時間
	豆むしり・・・	3時間
第4次（12時間）	チャレンジパーティーをする 計画・・・	3時間
	準備・・・	7時間
	リハーサル・・・	1時間
	パーティー（本時）・・・	1時間

8 ゲストティーチャー

県立油木高等学校の教諭 5名
同高等学校産業ビジネス科園芸専攻3年 6名

9 本時の目標

- （関心・意欲・態度） 第1学年：パーティーを楽しむ。
第2学年：自分達が計画したパーティーに積極的に参加して楽しむ。
- （思考・表現） 第1学年：お客さんが来てくれるように考える。
第2学年：お客さんに喜んでもらえるような屋台にするように，友だちと力を合わせて考え，工夫する。
- （気付き） 第1学年：お客さんが喜んでくれることに気付く。
第2学年：自分のがんばりや友だちの活動の様子から，自分や友だちのよさに気付く。

10 学習指導の展開

学習活動と予想される児童の反応	教師の支援（・）と評価（ ）
<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>楽しいチャレンジパーティーをしよう</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の学習課題を確認し，意欲を高めるような言葉掛けをする。 ・ みんなが楽しい気持ちになるようなパーティーにしようという意欲が持てたか。 （関心・意欲・態度 - ） 観察
<p>2 パーティーをはじめる。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歌を歌って，緊張感をゆるめ，和やかな雰囲気（場）をつくるようにする。 ・ 人とのかわりをもちにくい児童に対しては，言葉掛けをして，しばらく付き添うようにする。
<p>3 屋台の紹介をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 屋台の内容やここまででがんばったこと，楽しんで欲しいポイントをみんなに伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工夫しているところやよい点を見つけて，パーティーを楽しもうする意欲が持てるように言葉掛けをする。

4 屋台を開く。

- ・お客さんが自分達の店に興味を持ってくれるように工夫して活動する。



みんなに楽しんで
もらえるように、く
ふうしなきゃ。

5 感想を聞く。

- ・今日の活動について高校生などからの感想や意見を聞いたり，それを聞いて思ったことを話したりする。
- ・楽しかった農園活動やパーティーなどの活動を振り返る。

6 終わりのあいさつと片付けをする。

自分達の作った屋台を進んで紹介し，楽しい会をしようとする意欲が持てたか。

(関心・意欲・態度 - ， 思考・表現 -)
観察・発言

- ・様子を見ながら，招待した人に積極的にかかわるように必要に応じて言葉掛けをする。
- ・班で工夫しているところを見つけて，言葉掛けをする。
進んで人とかかわったり，友だちと協力し合って楽しんでいるか。

(関心・意欲・態度 - ， ， ， 気付き -)
観察

お客さんに分かりやすく説明しているか。

(思考・判断 -) 観察・発言

- ・聞く活動だけにならないようにするために，思ったことや考えたことを発表するように促す。
- ・招待した人に対して感謝の気持ちが持てるように，全体に言葉掛けをする。
友だちのよさや自分のがんばりに目を向けているか。 (気付き -) 発言

- ・みんなで協力して，片付けたりゴミを拾ったりするように促す。